



校旗のもとに

学校教育目標
仲よく
本気で
最後までがんばる子

勝瀬小学校 三つの心「チャレンジする心 がまんする心 豊かな心」

今年も…自分と、まわりの人を大切に作る1年にしましょう 校長 藤井文則

令和7年度のスタートです。本年度も、学校教育目標達成のために、三つの心を大切にしながら、子供の成長を第一に考えた教育活動を推し進めてまいります。子供、保護者、教職員、そして地域の方々を巻き込んで、互いが互いの立場を理解しあい、助け合いながらチーム勝瀬として協力体制を築き上げていければと思いますので、どうぞ1年間、ご理解ご協力をお願いいたします。

【学校教育目標】仲よく 本気で 最後までがんばる子

【学校経営方針】明るく、元気に、爽やかに、親身になって、丁寧に ～すべては子供の成長のために～

【目指す学校像】チャレンジ精神と粘り強さを大切にし、豊かな心を育む学校 ～勝瀬小三つの心～

【目指す児童像】自己肯定感を高め、夢や希望を持ち、自己実現に向け努力を続ける児童
～ぬくもりのある児童・夢や希望を持つ児童・心身ともに鍛える児童～

【本年度の重点】 (抜粋)

- (1)わかる授業を実践する学習指導の充実 (2)自己指導能力を育成する生徒指導
- (3)全教職員による特別支援教育の推進 (4)「命の授業+」を核とした自己肯定感を育成する教育の推進
- (5)自分とまわりの人を大切に作る人権教育の推進
- (6)より良い人間関係を築き自主的実践的態度を育成する特別活動
- (7)健康な体づくりの推進 (8)児童が自分の事としてとらえる安全教育
- (9)潤いのある環境整備(勝瀬助っ人団との協力) (10)指導力向上を図る外国語教育の研究
- (11)情報活用能力の育成を図る研究 (12)家庭・地域・関係機関との連携推進
- (13)新しい価値観の創造を目指すSTEM教育の推進



【年間生活目標】

気持ちのよいあいさつ言葉遣い・もくもく清掃・廊下歩行・もりもり給食

タイトルに「今年も」とつけたのは、令和6年度は年間を通して、人権教育「自分とまわりの人を大切に思うこと」をテーマに様々な取組を進めてまいりました。勝瀬小は、伝統的に子供同士が互いを支えあう「ピアサポート活動」や、異学年集団がかかわりあう縦割り活動(運動会、勝瀬っ子祭り等で実践)に取り組んできました。また、富士見市はすべての公立学校で「命の授業+(プラスと読みます)」に取り組んでいます。今までの伝統や市全体の取組を土台として、「今年も」子供たちの人権感覚の育成に努めてまいりたいと思います。お話朝会等で話したことは、可能な限り学校だよりに掲載していきますので、ぜひ、ご家庭でも、新しい時代を生きる子供たちにどう生きてほしいのか、保護者の皆様のお考えや体験談を+(プラス)していただければ幸いです。

入学式式辞 要旨 校長先生からは大切にしてほしいことを三つ、話します。まず、一つ目は、初めての事やわからないこともたくさんあるかもしれませんが、何でもやってみよう、試してみようという気持ちをもってください。チャレンジする心を大切にしてくださいね。二つ目は、学習をするときは学習をしっかりと、掃除をするときは掃除をしっかりと、先生の話をするときはしっかりと話を聞く、その時、その時にやらなければいけないことをしっかりとやる1年生になってください。がまんする心が大切です。そして、三つ目は自分と、まわりの人を大切にしてください。自分のわがままばかり言っていてはダメですよ。まずはクラスの仲間と仲よくすることからがんばりましょうね。周りの人を大切にできる人は、豊かな心を持っている人ですよ。チャレンジする心、がまんする心、豊かな心を大切にしてください。

学校だよりのタイトル『校旗のもとに』は、勝瀬小の校歌「校旗の歌」の歌詞の一節です。初代校長の 臺正夫 先生が作詞をしてくださいました。校旗のもとにみんなが仲よく集まろうという願いを表しています。

